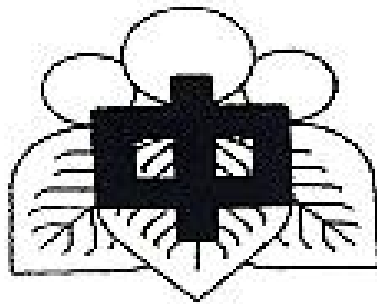


令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立大桐中学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

学力向上の面において、外部テストの結果から、全体的に全国・大阪府・大阪市の平均を下回る結果となっている。基礎学力の定着がこれまでに引き続いて喫緊の課題といえる。授業規律を守ったうえで、本校の取り組みとして「協同的学び」「主体的・対話的で深い学び」の実践に取り組んでいく。ICT(学習者用端末)の活用も定着してきているので、今後さらにその成果が現れていく事を期待している。

不登校生に関しては、深刻な課題の1つとなっている。コロナ禍を経て、登校しないことへのハードルが低下していることも要因のひとつと考えられるが、不登校生徒の割合の増加に歯止めがかからない状況が続いている。「いじめ等の未然防止・早期発見」・「安全で安心できる学習環境の構築」を行いつつ、放課後デイサービスやフリースクール等を利用する生徒も増加している現状を鑑み、文部科学省からの指示にもあるように、当該施設との連携を図り、利用生徒の利用日は出席認定とするなどして、少しでも生徒・保護者の不安を取り除いていきたい。心和中学校と連携した学習動画コンテンツの利用によって、不登校であった生徒がこのコンテンツを利用することで毎日大桐ルームに登校し、個別最適な学習が実現できている。

体力・運動能力については、この数年、男女ともに全国平均を下回る傾向にある。体力・筋力の向上に向けての取り組みを行う必要がある。これからも3年間を見据えた取り組みを継続していくことが必要である。

令和8年12月から令和10年12月に、体育館の建て替え工事となっている。工事ヤードとしてグラウンドの半面も使えない。入学式、卒業式、体育大会、文化祭、体育授業、集会、各保護者説明会、部活動、PTA活動、地域活動など、全てにおいて校外の施設をお借りすることによる交渉・調整が必要となる。

また、令和11年度に創立50周年記念式典と体育館竣工式を行う予定である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- (1) 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、85%以上にする。
- (2) 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、75%以上にする。
- (3) 毎年度末の校内調査において、不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- (4) 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- (1) 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率3割以下の生徒を、令和 7 年度(国語 $42/177 \times 100 = 23.7$) (数学 $79/178 \times 100 = 44.4$) より3ポイント減少させる。
- (2) 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、85%以上にする。
- (3) 令和 11 年度の大阪市英語力調査の中学校卒業段階での C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を、45%以上にする。
- (4) 令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和 7 年度(男子 90.7・女子 87.6)より3ポイント向上させる。
- (5) 令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を(男子 88.2・女子 72.3)%以上にする。
- (6) 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか。」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- (1) 令和 11 年度の本市調査の年度目標アンケートの「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- (2) 令和 11 年度の本市調査の年度目標アンケートの「インターネットや生成 AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- (3) 令和 11 年度の教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を、令和 7 年度(41h)より3時間削減する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。
- ・年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を72%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度(11.32%)より減少させる。
- ・年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・中学校チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ・中学校チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ・年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。
- ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を42%以上にする。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比の割合を、男女ともに前年度(男子90.7%・女子87.6%)より1ポイント向上させる。
- ・年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- ・年度目標アンケートにおける「朝食をとっていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を77%以上にする。
- ・年度目標アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を87%以上にする。
- ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月40時間以下とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立大桐中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 82% 以上にする。 ・年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 72% 以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度 (11.32%) より減少させる。 ・年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85% 以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>不登校対策の一方策としての大桐ルームを利用している生徒にとって、「安心できる居場所」であるための条件・環境の整備の推進を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>不登校傾向にある生徒の登校状況を改善する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>教育目標「人にやさしい学校づくりに努める」「個性のちがいを認め思いやりの心を育てる」の達成のため、個々の生徒の現状を把握するとともに、SSW・SC等関係諸機関との連携を綿密に行い、情報共有を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>いじめアンケートを各楽器に 1 回、教育相談を年に 2 回行う。 スクリーニング会議 I・II を適時行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>学校行事・学年行事への全生徒の参加を目指し、仲間意識と自尊感情の育成を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>各行事後のアンケートや生徒の様子を確認し、検証する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立大桐中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 ・中学校チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 ・年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。 ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を42%以上にする。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比の割合を、男女ともに前年度(男子90.7%・女子87.6%)より1ポイント向上させる。 ・年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。 ・年度目標アンケートにおける「朝食をとっていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>質の高い授業づくり研究を学校全体で取り組み、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業を積極的に行い、スタンダードモデルを策定する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>全国学力学習状況調査、中学校チャレンジテスト、大阪市英語力調査、校内テスト、漢検、英検における言語活動・思考力・判断力・表現力・根拠説明・聞くこと・読むこと・話すこと・書くことへの対策を進め、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業の質を高める。</p> <p>11月を授業公開月間とし、全教員が公開授業を実施して相互参観を行い、授業研究に取り組む。</p>	

<p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学びサポーター、特別支援教育サポーター、元気アップ地域コーディネーターを活用しての学力向上支援を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>元気アップ地域コーディネーター、学びサポーター等による放課後学習会を原則毎日開催する。</p> <p>近隣大学と調整し、11～12月に学生ボランティアによる学習サポートをほぼ毎日実施することで、放課後学習会への参加者を増加させ、家庭学習の定着へ繋げる。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>保健体育科の授業で基礎体力向上に努め、体を動かすことへの興味・関心に繋げる。</p>	
<p>指標</p> <p>保健体育科の授業において準備運動と合わせて補強運動を毎時間行っていく。</p> <p>マット運動、陸上、柔道、ダンス等の授業において、学習者用端末を活用し、フォームチェック等を行うことで効果的な授業を展開していく。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>食に関する指導を通して、望ましい食生活への興味・関心に繋げる。</p>	
<p>指標</p> <p>学年、学級に応じた内容の食育を食に関する全体計画に則り、給食の時間のみならず、学校教育活動全体を通して実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立大桐中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を77%以上にする。 ・年度目標アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を87%以上にする。 ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月40時間以下とする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 学習者用端末を活用した教育を推進するため、普段の授業からデジタル教材やデータを用いた個に応じた学習を促進する。</p> <p>指標 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を77%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 インターネットや生成AI、SNS等を活用する時の情報モラルの生徒の理解を深める。</p> <p>指標 各学年において、情報モラル教室を行う。 学習者用端末の活用時に、普段の各教科の授業で情報モラルを関連づける。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】 「ノー残業デー」の日を設定し、職場環境の充実を図る。</p> <p>指標 学校閉庁日について、夏季休業期間中は3日以上、冬季休業期間中においては2日以上設定する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点